

2016年10月11日

ジャカルタ ジャパン クラブ
会 員 各 位

ジャカルタ ジャパン クラブ
邦人安全対策連絡協議会

本協議会から最近の治安状況等についてお知らせいたします。会員各位ならびにご家族、また関係のご出張者におかれましては治安状況等に十分ご留意いただき、掲載の事件・事故と同様の被害に遭われないよう十分ご注意、ご周知ください。

- * J J C 邦人安全対策連絡協議会 TEL : 315-0418
FAX : 3192-5902
- * 在インドネシア日本国大使館 TEL : 3192-4308

1 冒頭挨拶

10月21日に緊急事態発生時の緊急連絡網訓練等を実施し、各総領事館、在インドネシアの各地日本人会、政府組織及び各地の日本人学校にもご協力いただき、効果的に訓練を行なえた。その際にいくつか課題も見つかったので、手当てしているところ。例えば「在留届」が提出されていても、その後に「変更届」が提出されていない場合には当方からの連絡が付かないため、各企業の日本人の皆様には「変更届」提出の周知徹底をお願いしたい。

2 最近の政治・治安情勢

9月よりテロ事件の発生・テロ計画の摘発などの報道はないが、9月28日の報道によると西ジャワ州ブカシ市においてアブ・ファウザンがインドネシア人を ISIL に参加させるためにシリアに送り込んでいたとして、国家警察テロ対策特別捜査隊に逮捕される事例が発生。今後も、テロへの注意に怠りないようにしていただきたい。

3 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(1) 邦人が巻き込まれる大きな事件事故の報告はなかったが、トイレに置き忘れた貴重品が盗まれた事案と、路上に駐車しパンク修理中に車内から鞆を盗難される事案が発生。

(2) 例年10月頃から年末にかけて、翌年の最低賃金アップや雇用条件改善を求める大規模な労働デモが行なわれている。既に9月29日には数千人規模の労働デモが大統領官邸前で行なわれ、また10月3日にはクマンのGo-Jek本社前でドライバーによるデモが行なわれ、一時クマンの通りが通行不可になる事案が発生した。

来年2月15日にはジャカルタ州、バンテン州の州知事選挙の投票日となっている。ジャカルタにおいては10月26日より選挙キャンペーンが開始される。選挙関連のデモも予想されるため、デモの発生場所には近づかない、事前に情報を確認し移動ルートを考慮するなどの対策をお願いしたい。(J J C ホームページに掲載しているデモ情報をご参照いただきたい。) また万が一デモに遭遇した場合は、出来るだけ速やかに現場を離れ安全確保に努めていただきたい。

4 報告及び連絡

(1) 10月5日付で大使館よりメール配信を行なったが、10月11日から12日頃までは、イスラム教シーア派の宗教行事アシュラーに当たる。インドネシアでは大きな行事は見られないが、引き続きご注意ください。

(2) 例年10月1日付けで、在留邦人の皆様に「在留届」の現況調査をお願いしている。本データが唯一の在留邦人数の統計資料となるため、皆様のご理解とご協力をお願いしたい。変更のない場合や帰国された方はその旨大使館からのメールにご返信いただきたい。また、変更のある場合はオンライン登録変更又は大使館へ変更届・帰国届の提出をお願いしたい。また、本現況調査の統計データは、外務省のホームページにて公開されているのでご参照いただきたい。

5 最近の医療事情等

(1) 今年は乾季にも拘わらず、降雨量が多く、例年以上に感染症、特にデング熱の流行が懸念されている。各家庭、外出先での防蚊対策をお願いしたい。シンガポールでは、9月中旬までにデング熱発症件数が1万人を越えて、昨年比70%増となっている。

(2) ジカ熱については、米CDC（アメリカ疾病予防管理センター）は、インドネシアに対するレベル1（注意）からレベル2（警戒）へ引上げられており、より一層の注意が必要としている。これは「妊婦や妊娠の可能性のある方は、不必要な渡航を避け、渡航延期を勧告する」レベル。インドネシアでは、公式にはジカ熱の感染は数例しか発表されていないが、インドネシアの検査体制が整っていないものに起因するものと思われる。

(3) 当地の学校において季節性インフルエンザの集団発生の報告が入っている。その他鳥インフルエンザについてはインドネシアはH5N1型の最大の発生国であり、インドネシア国内で7月に16例、8月に12例の発症が確認されている。鶏肉は完全に火の通ったものを食すようお願いしたい。また、鶏卵による感染の報告は入っていない。

6 質疑応答、各社（団体）からの報告等

（報告）

9月16日18時頃に奇数・偶数ナンバーによる交通規制のあるスディルマン通りにて、交通違反取締りを受けたが、幸い注意のみであった。

（報告）

212ビザ取得を申請する際、これまでパスポートの残存期間が18ヶ月あれば受けてもらえたが、日本の旅行会社から10月からは残存期間が36ヶ月必要との情報に接している。又、在東京インドネシア大使館のホームページも36ヶ月と更新されている。12月、1月は出張者も多く対応に追われている。

（報告）

212ビザについて期間が延長され、同時にパスポートの残存期間も変更になったと聞いている。現在、状況を確認している。

（質問）

当地でインフルエンザが流行している一方で、タミフルが不足していると聞いている。

(回答) JJS

医務館とも相談したのだが、タミフルは基本的には体力の低下した患者に処方するもので、子供や成人に対する処方控え、日本でも最近安易に処方していないと聞いている。子供達には安静に自宅療養するように勧めている。

(報告) JJS

学校行事につきましては、9月24日に体育祭を無事終えた。6年生がバンドゥンへ、中学生2年生がバリへ修学旅行を予定している。大使館、総領事館とも連絡を取りながら安全第一で進めていきたい。

インフルエンザの流行については10月3日にインフルエンザ発症の連絡を受けた。全体で17名～18名で推移しており、自宅療養を勧めている。本日は3名欠席となっている。

熱が下がると子供が登校したがることもあるが、完治するまでは登校を見合わせてもらうよう周知している。

(報告) JJC

9月21日の緊急連絡網訓練につきましては、ご協力いただきありがとうございました。当所はSMSとメールにて案内した。SMSは特定のキャリアからブロックされてしまう事例が伺えた。また、Eメールについては約2800通配信し、安否確認の返信機能を設定したところ、約半数の方から返信が返ってきた。一部システム上、安否確認の選択ボタンを押せない等の不具合が散見されたため、今後改善が可能か確認していきたい。

10月9日に東京の海外邦人医療基金のご協力にて、小児発達に関する相談会をJJCにて概ね20人弱の保護者の方々と集団での相談会を開催した。これまでは個別相談を行っていたが、今回は保健当局の法律に基づき個別診断は行なわれなかった。今後は当局の動向にもよるが、このような機会は継続していければと思っている。

今回の海外邦人安全対策連絡協議会は、2016年11月8日（火）午前11時から